



認定特定非営利活動法人 2015.5.17 Vol.103

日本災害救援ボランティアネットワーク
Newsletter

響想の社会をめざして

東日本大震災4周年行事

関西学院大学社会学部とNVNADとの共同運行によるボランティアバスを、3月6日～10日の日程で、野田村に向けて出しました。今回のボランティアバスは、関西学院大学としては第10弾、NVNADとしては第24弾で、学生19名、教員・スタッフ4名のあわせて23名による活動となりました。

3月6日午後4時に関西学院を出発、翌7日朝9時前に野田村に到着後、滞在初日の活動に入りました。午前中は、参加学生の企画・準備による街歩きで、村民の方からお話をうかがったのち、4グループに分かれて野田村内を歩きながら、気付いた点を記録しました。午後は2班に分かれての活動。1つ目の班は、地元で活動されているさをり織のグループを訪問し、体験参加させていただきながら、一番の目的である交流の機会をいただきました。参加した学生にとっては、震災当時の話をはじめ、色々な話をうかがう貴重な時間となりました。もう1班は、翌日の活動準備として、仮設住宅で振る舞うおでんの買い出しと下ごしらえの他、案内チラシをポスティングしてまわりました。

午後8時からの“ふりかえり”では、まず午前中におこなった街歩きのグループごとにディスカッションをしたのち、各グループによる発表を行い、街歩きから得た情報や感想を全員で共有しましたが、熱心な議論が展開され、あっという間に2時間半が経過しました。

3月8日、滞在2日目の活動は、野田中仮設住宅、泉沢仮設住宅、南浜コミュニティセンターの計3ヶ所での交流活動でした。野田中仮設での活動組は、前日から仕込んだおでんを食べさせていただきながらの交流、その他の集会所で

は、地元の方に教えていただきながら作った“あんぴん(大福)”を振る舞い、茶話会を行いました。中でも南浜地区は、震災前から住んでおられる方と、震災後、この地区にある災害公営住宅(復興住宅)に入られた方の両方がいらっしゃる地区で、我々にとってこの地区での活動は初めてでした。不安を感じながらのスタートでしたが、たくさんの方にお越しいただき、新しい出会いがあったことを嬉しく思っています。夕方からはチーム北リアスの現地事務所に、野田村村会議員の山田様をお招きし、1日目の街歩きで気になった点について質問させていただいたり、復興の現状や課題を中心に、野田村の魅力や今後の抱負などについてお話いただきました。

3月9日、最終日の活動は、下安家(しもあつか)集落の方々がお住いの地区でのハンドアロマ、野田中仮設にお住いの有志が作られた手芸サークル「グラシアの会」への参加、そして津波で大きな被害を受けたしいたけ栽培農家のお



- c o n t e n t s -

- P 1 東日本大震災4周年行事
- P 2 V I S I O N 1 1 7 / 福島県郡山市訪問
- P 3 丹波市復興さくら祭り / 佐用町さくら祭り / 佐用町訪問
- P 4 K S N プロジェクト / 親子でわがまち探検隊 / 子ども防災クラブ
- P 5 ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式 / 市民コーディネート事業
- P 6 兵庫県より感謝状 / 尼崎避難訓練 / 浜甲子園地区防災マップ作成会 /
. 高木春まつり / NVNAD通常総会開催のお知らせ
- P 7 Nうごき・Nごよみ / 兵庫県立西宮高等学校吹奏楽部様よりご寄付
- P 8 会員・寄付者・募金者のみなさま / 編集後記



手伝いの3グループに分かれて活動をしました。活動終了後には、3日間の活動全体のふりかえりも実施しました。

野田村では、復興住宅の他、自主再建の戸建て住宅も建ちはじめています。また、津波で流された地域は、区画整理が進み、防波堤の意味での盛り土の工事なども進行しています。震災から4年が経過し、被災地の状況はどんどん変化していますが、「被災者お一人お一人に寄り添う」という基本姿勢は忘れず、さらに、変化する状況にも対応していくことも大切に考えて、今後も交流を中心とした支援活動を行っていかねばと思います。（事務局）

VISION 117

2015年4月25日午前11時56分、ネパールの首都カトマンズと周辺地域を直撃するマグニチュード7.9の地震が発生しました。現在、必死の救援作業と人々への支援活動が続いています。ネパールで大きな地震が発生することは、以前から言われており、そのために地元の防災組織などが懸命に防災活動を行ってきました。しかし、様々な事情から、十分に防災・減災が進まないままだったのかもしれない。多くの被害を出し、たくさんの尊い命が奪われてしまいました。私自身もカトマンズには何度か訪れ、地元の防災組織が展開しておられる防災活動を見学して多くを学ばせて頂いておりました。例えば、地震の揺れと建物の構造との関係については目に見える形でデモンストレーションをすることや、地元の資源をできる限り有効に活用して公共性の高い建物から補強することなど、基本的な防災活動を、地域の村々に入り込んで、住民とじっくり話し合い、地道に、根気よく展開されている姿に感銘を受けておりました。しかし、災害はいつも想定外。とんでも

ない被害が出てしまいました。NVNADでは、これだけ大きな被害が出ると、世界各国から救援隊が到着し、現地では一気呵成に救援活動が始まることを予想しました。また、報道もそうした地域の現状を伝えてくれることと思いましたが、一方、救援が届きにくい地域があり、報道でも知ることができないところで苦しむ人々がいるのも常です。そこで、そうした地域への救援活動を模索しました。幸い、こうしたお考えを一貫してお持ちで、NVNADよりもずっとネパールに詳しく、現地の方々とのネットワークをお持ちの団体「特定非営利活動法人CODE海外災害援助市民センター」（神戸市）があり、すでにスタッフが現地に入られております。そこで、NVNADでは、CODE様に連絡を取らせて頂き、今回は、NVNAD会員の皆様をはじめ、応援して下さる皆様に対しまして、CODE様へのご寄付をお願いしている次第です（詳細は、NVNADのホームページをご覧ください）。スタッフの方々が現地から戻られましたら、西宮でも報告会を開いて頂いて、今後のネパール支援について、皆様と一緒に考えて参りたいと思っております。引き続き、ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。理事長 渥美 公秀

福島県郡山市訪問

3月19日福島県郡山市のNPO法人ハートネットふくしまさんを訪問し、富田町若宮前応急仮設住宅（富岡町住民対象）で毎週金曜日に行われているお茶会の手伝いをさせていただきました。

仮設住宅での生活も3年半を越え、ハートネットふくしまさんにより毎週行われているお茶会も、入居者の皆様にとってすっかり馴染みのものとなっています。富田町若宮前仮設では、富岡町の他、毎週水曜日に双葉町住民を対象としたお茶会も実施されていますが、このお茶会には、西宮の高山堂様のご協力を得て、毎月異なる和菓子を送らせていただいています。訪問した日は、ちょうど高山堂様のお菓子をお出しする日にあたり、仮設の皆様が、毎月楽しみにされている様子を直に拝見することができました。このお茶菓子の発送も3年以上になりますが、継続して行っていることを喜んでくださり、感謝の気持ちをお伝えいただきました。阪神大震災の経験から、息の長い支援を...との思いのもと、ご協力くださっている高山堂様に改めて感謝申し上げます。

翌21日は、炊き出し用の野菜カットなどを手伝い、ハートネットふくしまの職員の方から、避難しておられる方々の様子や活動の現状についてうかがいました。復興住宅の建設が大幅に遅れており、まだ当分は仮設住宅生活が続くと思われる現状や、移り住んだ復興住宅におけるコミュニティづくりの難しさなどについてうかがい、まだまだ必要とされる支援があることを改めて感じました。今後も、移り変わる状況に対応した支援、被災者の皆様に寄り添った支援を継続していきたいと考えています。（事務局）





丹波市復興さくら祭り

4月12日(日)丹波市前山地区の大杉ダム下公園にて、地元主催の「復興桜まつり」が開催され、ボランティアの皆さんと一緒にお手伝いのため訪問しました。いつもお世話になっているNPO法人いきいき前山のスタッフやボランティアの皆さんと、うどんや豚汁の無料配布コーナーをお手伝いさせていただきました。



丹波市市長をはじめ地元の方がたくさん来られ、自治会単位でシートやござを広げて花見を楽しんでおられました。片づけを済ませ、オアシスイツせ(前山コミュニティセンター横)に移動してから、帰路に着きました。被災地にとっては復興に向けてのまた新たな第一歩につながる大切な行事となったのではないかと思います。これからも引き続き交流をさせていただきたいと思います。(事務局)



佐用町さくら祭り

4月4日(土)~5日(日)の1泊2日で、チャコネット(関西学院ヒューマンサービスセンター)の学生メンバーと一緒に、佐用町を訪問しました。10時30分過ぎに、久崎のフーズくらださんのところに全員が到着し、桜もちづくりとチャコ畑の草抜きを行った後、昼からは、笹ヶ丘荘の窯で竹炭を焼くグループと、カフェの準備をするグループに分かれて活動しました。14時からカフェを開始。普段は日曜日の開催のところ、今月は翌日5日(日)が桜まつりだということで、土曜日に開催させていただきましたが、多くの住民の方がお越し下さいました。夕食はみんなでお鍋の準備をし、いつもカフェなどチャコネットの活動を全面的にサポートして下さっている久崎の方々にも入っていただき交流しました。宿泊は、久崎地区センターをお借りしました。



翌5日(日)は、桜まつりの会場である笹ヶ丘ドームへ移動しました。桜まつりは佐用町役場と佐用町観光協会が主催で、ステージや模擬店などがあり、我々チャコネットは、例年同様に「子どもの遊びコーナー」を担当させていただきました。今年の出し物は、竹炭石けんづくり、魚釣りゲーム、バルーンアート、ヨーヨー釣り、の4つのコーナーです。10時に桜まつりはスタートしましたが、朝からあいにく雨模様で来場者は昨年と比べて少な目でした。でも会場に来ていた子どもたちは、チャコネットの遊びコーナーに立ち寄ってくれ、とても楽しそうに遊んでいました。途中、佐用町のマスコットキャラクターである『おさよん』も登場し、子どもたちの人気者になっていました。14時までに桜まつりは終了となり、会場の後片づけもお手伝いさせていただきました。その後、フーズくらださんのところまで全員移動し、2日間のふりかえりミーティングを行いました。今回はチャコネットのメンバー以外にも、関西学院大学社会学部の関ゼミ生が応援に駆け付けてくれました。2009年の佐用町水害以降、この桜まつりには今回で5回目の参加となりましたが、地元の皆様と交流を深めさせていただき、とても有意義でした。(事務局)



佐用町訪問

3月21日(土)~22日(日)1泊2日の日程で、チャコネットのメンバーと兵庫県佐用町を訪問しました。フーズくらださんのところでは卒業生がカフェの看板作製を行い、福井社長宅の裏庭では竹を割るグループが作業を行っていました。卒業生によるカフェの看板はとても素敵なものが完成しました。宿泊先のホテルで翌日の流れのミーティングを行いました。

翌22日(日)は久崎にあるフーズくらださんのところでカフェを開催しました。この日もたくさん住民の皆さんがお越し下さいました。14時前になって卒業式が始まり、チャコネットの卒業生7名に対し、住民の皆さんから祝辞をいただいたあと、卒業生1人ひとりから答辞がありました。手作り感たっぷりでもとてもあたたかな卒業式でした。準備やお声掛けをして下さった久崎の皆さん、本当にありがとうございました。(事務局)

KSNプロジェクト



3月26日(木)KSN(関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADの3者が主催)の交流イベントとして、西宮からバスに乗り堺市泉が丘にあるビッグバン(大型児童館)を訪問しました。今回のイベントには、西宮に県外避難されている親子を中心に、全8組19名の親子が参加して下さいました。10時にビッグバンに到着し、午前中は参加親子と大学生リーダーと一緒に館内を回って色々な遊具で遊びました。午後からは、子どもたちは大学生リーダーと一緒に館内で、お母さんたちには近くのショッピングセンターなどで、それぞれ有意義な時間を過ごしていただきました。16時前に玄関前に集合し、全員で記念撮影をしたのちバスで帰路につきました。子どもたちにとっては、とても楽しい時間を過ごせたのではないかと思います。関西学院大学(関ゼミ)、および、大阪大学の大学生リーダーの皆さん、お疲れ様でした。(事務局)

親子でわがまち探検隊



2月28日(土)午前中、西宮市の高木公園にて、恒例となりました「親子でわがまち探検隊」を、高木公園管理運営協議会、および、高木地区青少年愛護協議会との共催で開催させていただきました。プログラム内容は、防災倉庫に入っている資機材の説明にはじまり、公園内の地面下に設置されている緊急時のトイレシステムの見学、緊急貯水槽の組み立て作業、そして、最後に非常食(五目ご飯)を食べ、防災クイズにも挑戦していただきました。当日はお天気にも恵まれ、たくさんの親子が参加して下さいました。いざという時に備えた、こうした取り組みの大切さを改めて実感しました。高木地区の皆様、西宮市水道局の皆様、ありがとうございました。(事務局)

子ども防災クラブ



2月28日(土)第6回目の子ども防災クラブを高木小学校で実施しました。今回は今年度の最終回で、前半は1年間の活動を映像で振り返りながら、活動についてのクイズ問題にチャレンジしてもらいました。また、後半では、思い出づくりということで、プラバンの製作を行いました。

そして最後には、卒業生に1人ひとり色紙や

アルバムを贈呈し、全員で写真を撮影してプログラムは終了しました。メンバーの子どもたち、リーダーの皆さん、1年間ありがとうございました。卒業生の皆さんには、中学校に行っても子ども防災クラブで学んだり体験したことを、なんらかの形で生かしていただければと願っています。(事務局)



ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式

3月15日(日)仙台で、第3回国連防災世界会議のパブリックフォーラムとして開催された「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール表彰式」と「パネルディスカッション『子どもが主役の防災教育』の実践～ぼうさい探検隊、これまでの10年とこれからの10年～」に参加して参りました。

今年で第11回となった表彰式には、過去最多の2,267作品から、文部科学大臣賞、防災担当大臣賞、消防庁長官賞、まちのぼうさいキッズ賞(日本ユネスコ国内委員会会長賞)、未来へのまちづくり賞(朝日新聞社賞)、ぼうさい探検隊賞(日本損害保険協会賞)、わがまち再発見賞(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)、そして、今回から新設された気象庁長官賞とキッズリスクアドバイザー賞(日本損害保険代理業協会賞)に選ばれた作品に取り組んだ児童と指導者が招かれ、それぞれ壇上で表彰されました。NVNADからの「わがまち再発見賞」は、ガールスカウト神奈川県第53団「GS KANAGAWA53」に贈られました。損保協会の集計によりますと、これまで11年間の累計で、応募団体は3,372団体、応募作品は16,036マップ、参加児童は115,186人となりました。マップ作りには、複数の大人が関わってくださっています。その結果、子ども達だけではなく、関わってくださっている大人たちにも防災活動が普及していっています。仮に1枚のマップに5名の大人が関わってくださっているとしますと、これまでに全国で50万人もの大人が防災活動を展開して下さったこととなります。審査講

評では、審査委員長の室崎益輝神戸大学名誉教授から、「マップには、たくさんの児童と地域の大人の防災への想いや気づきがつまっている。これまでのマップをつなげると富士山よりも高くなる。これからも、世界一周するぐらいたくさんのマップ作りを進めていこう」と印象的なお言葉が添えられました。



表彰式に引き続き、「パネルディスカッション『子どもが主役の防災教育』の実践～ぼうさい探検隊、これまでの10年とこれからの10年～」が行われました。国内外から200人ほどの参加があり、1時間半にわたり議論が展開されました。まず、ぼうさい探検隊を紹介する短い動画を見て、ぼうさい探検隊の10年を振り返りました。その後、ぼうさい探検隊の発案者であるNVNADから、探検隊の原点を紹介させていただきました。続いて、福島県相馬市、愛媛県愛南町での実践が報告されました。会場には、第1回コンクールで受賞された蜂坂さんの姿があり、当時の体験やその後の東日本大震災での活かし方などをお話いただきました。当時の小学生も今は大学生になって、立派に発言されていました。さらに、海外での実践例としてベトナムでの活動が紹介され、後半の議論「これからの防災教育」に移りました。パネリストの先生方からはユニークなマップ作りや、小学校3年4年の社会科の教科書にマップ作りが入ったことなどが紹介されました。最後に、登壇者が一言メッセージを書いてその核心を紹介し、これからもぼうさい探検隊を通じてさらに発展的な防災教育に取り組むことを誓い合って終了しました。NVNADとしましては、ぼうさい探検隊の発案者、コンクールの共催団体として、この活動がさらに充実していくよう、これからもさらに尽力していきたいと考えております。(理事長 渥美公秀)



・・市民コーディネーター事業・・

3月28日(土)14時から西宮市市民交流センターにて、「ボランティア受入セミナー」を開催しました。今回の講師として地域活動コーディネーターの西明直子様をお招きし、NPOや市民団体がボランティアを受入れるにあたってのポイントや注意点などについてお話をうかがいました。「ボランティアのやりたい気持ちを大切に」「ボランティアは決して人手ではない」「声かけの大切さ」など、ボランティアを受入れる側のスタッフの心構えを色々とお聴きすることができ、また、ボランティアの募集の仕方や、スタッフ間での共通理解の大切さなど、とても参考になるアドバイスを教えてくださいました。西明直子様ご協力ありがとうございました。(事務局)





3月30日(月)14時から、兵庫県公館にて「阪神淡路20年復興フォローアップフォーラム」が兵庫県主催で開催されました。第1部は、この20年間神戸や阪神間の被災地で活動を継続してこられたNPO団体や個人の表彰式が開催され、NVNADも感謝状をいただきました。第2部では室崎先生の講演会とパネルディスカッションが開催されました。阪神・淡路大震災以降これまで色々なところでお目にかかったり、お世話になった方々にお会いすることができ、気持ちも新たにこれからの活動に取り組んでいければと思います。この場をお借りして関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。(事務局)

兵庫県より
感謝状

尼崎避難訓練



3月23日(月)午後、尼崎のパークタウンにおいて、災害時の津波を想定した避難訓練が開催され参加しました。パークタウンにお住まいの方や周辺の住民の皆さんが、合図と共に3階以上に避難する訓練が行われました。開始から10分ほどで参加者全員が3階以上に避難完了しました。今回は参加者が少なかったですが、1階や2階にお住まいの体が不自由な方々の避難について、あるいは、外部からたくさんの方がパークタウンに避難してきた場合に、スペースに余裕はあるのか、などなど気になる点が出されていました。避難訓練の終了後は、集会所の前で尼崎市消防局スタッフからAEDの使い方についての講習会が開催されました。いざという時に備えて住民主体のこのような取り組みは、とても大切だと思いました。(事務局)

～西宮市浜甲子園地区防災マップ作成会開催～

2月21日(土)西宮市浜甲子園団地中央第2集会所に於いて、西宮市浜甲子園地区防災マップ作成のための「第3回防災マップ検証会」が開催されました。

この検証会には、各地区の自治会、自主防災会の方々が出席され、NVNADも参加し、浜甲子園で最も危惧される「武庫川氾濫、津波災害」を想定災害(テーマ)に、追加したい情報や削除したい情報について、確認作業を行いました。

今回が最後の検証会で、住民の皆さんの手作りの素晴らしいマップができることと思います。(事務局)



高木春まつり



4月19日(日)西宮市の高木公園にて恒例の高木春まつりが開催され、東日本大震災の被災地である岩手県野田村での活動風景写真の展示と、魚釣りゲームを実施しました。金魚すくいや輪投げなどの遊びブース、あるいは、焼きそばや綿菓子などの飲食ブースなど様々なお店が並んでいて、子ども同士や親子連れなどで会場内はとてもにぎわっていました。高木地区の皆様の団結力は素晴らしいと思いました。お手伝いいただいたボランティアの皆さん、ありがとうございました。(事務局)



第17回NVNAD通常総会開催のお知らせ

日時 平成27年6月20日(土) 13:00~14:30
場所 西宮市民会館 中会議室401
西宮市役所南隣り(阪神西宮駅市役所口より徒歩3分)
TEL 0798-33-3111

*総会への出席は、正会員の方のみとなりますので、ご了承ください。(事務局)

Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

- | | | |
|-----|-----------------------|-----------------------------|
| 2月 | 19日 | コーディネート事業「フリートークの日」(西宮市) |
| | 21日 | 浜甲子園地区防災マップ作成会「第3回検証会」(西宮市) |
| | 22日 | KSNプロジェクト交流イベント(西宮市) |
| | 26日 | 丹波市訪問(丹波市) |
| | 28日 | 第6回子ども防災クラブ(西宮市) |
| 3月 | 28日 | 親子でわがまち探検隊(西宮市) |
| | 6日 | 丹波市訪問(丹波市) |
| | 6日~10日 | 東日本大震災4周年行事(岩手県野田村) |
| | 7日 | 西宮フォーラムに参加(西宮市) |
| | 12日 | 丹波市訪問(丹波市) |
| | 14日 | 猪名川町社協講演(兵庫県猪名川町) |
| | 15日 | ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式(東京都) |
| | 16日 | コーディネート事業「フリートークの日」(西宮市) |
| | 16日 | NVNAD理事会(西宮市) |
| | 19日 | コーディネート事業「フリートークの日」(西宮市) |
| | 20日 | 丹波市訪問(丹波市) |
| | 21~22日 | 佐用町訪問(佐用町) |
| | 23日 | 武庫地区パークタウン避難訓練(尼崎市) |
| | 24日 | 西宮市社協用海分区講演(西宮市) |
| | 26日 | KSNプロジェクト交流イベント(堺市) |
| 27日 | 大阪大学未来共生活動報告会に参加(大阪市) | |
| 28日 | 東大阪市社協講演(大阪府東大阪市) | |
| 29日 | 丹波市訪問(丹波市) | |
| 4月 | 4~5日 | 佐用町訪問~桜まつり~に参加(佐用町) |
| | 12日 | 丹波市~桜まつり~に参加(丹波市) |
| | 18日 | 関西学院ヒューマンサービスセンター新歓に参加(西宮市) |
| | 19日 | 高木春祭りに参加(西宮市) |
| | 29日 | 地域共生館イベントに参加(西宮市) |
| 5月 | 29日 | 兵庫県立西宮高等学校吹奏楽部に参加(西宮市) |
| | 13日 | 八尾市社協講演(大阪府八尾市) |
| | 15日 | NVNAD通常理事会(西宮市) |
| | 16~17日 | 佐用町訪問(佐用町) |
| | 17日 | ニュース .103発行 |

Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

- | | | |
|----|------|---------------------------|
| 5月 | 30日 | NVNAD会計監査(西宮市) |
| 6月 | 6日 | 第1日目災害ボランティアリーダー養成講座(西宮市) |
| | 13日 | 第2日目災害ボランティアリーダー養成講座(西宮市) |
| | 20日 | NVNAD通常総会(西宮市) |
| | 20日 | Jネット総会(西宮市) |
| | 28日 | KSNプロジェクト学習支援イベント(西宮市) |
| 7月 | 30日 | 浜脇地区防災マップ作成会(西宮市) |
| | 1日 | カレンダー市打合わせ会議(西宮市) |
| | 11日 | 子ども防災クラブ開始(西宮市) |
| | 28日 | KSNプロジェクト交流イベント(西宮市) |
| 8月 | 5~6日 | 西宮子どもキャンプ交流会(佐用町) |
| | 17日 | ニュース .104発行 |



兵庫県立西宮高等学校吹奏楽部様よりご寄付をいただきました。

4月29日(祝)西宮市民会館アミティホールにて、兵庫県立西宮高等学校吹奏楽部の第25回定期演奏会(チャリティコンサート)が開催され、入場料の全額を本会の兵庫県丹波市の支援活動にご寄付(298,350円)いただきました。皆様の温かいお気持ちを、今後の丹波市での支援活動に有効に活用させていただきたいと思っております。兵庫県立西宮高等学校吹奏楽部関係者、および入場者の皆様、本当にありがとうございました。(事務局)



～ 会員・寄付者・募金者のみなさま～

継続会員のみなさま（2015年2月1日～2015年4月30日）

個人正会員：「継続」 三好紀昭、新野幸次郎、齊藤秀子、小野明雄、魚島侑子、桐山裕文、萩野茂樹、三浪富士子、山岸裕吉、山岸のぶ子、植木和夫、金井佐稚子、荻原迪子、片岡幸壱、舟知正、西川達夫、鶴田芳樹、林幹高、南義彦、吉田時雄、梶昌代、谷原和憲、ハッ塚としえ、明石恵實、明石貞子、中村有美、松野博、早川一代、米山大吾、花岡豊、平川りつ子、大井英臣、渥美公秀、渥美直子、福田恵匡、矢守克也、矢守恭代、森川博雄、松本清子、北村英夫、田中正秀、田中みどり、岩瀬哲正

個人賛助会員：「継続」 吉岡啓次、渡辺清武、秋山洋子、赤対泰、赤対美千代、山田明子、忽那須美男、島和子、中川純子、葉千鶴子、志賀理恵、臼井潤子、原田陽子、掛水すみえ、石井保江、渡邊保、渡邊鶴予、上野由紀子、大里恵子、石川智子、鈴木憲一、中島久美子、小栗優子、中垣伸、高橋聰子、御舩鋼、石川たか子、宮城久代、藤ヶ谷幸子、平井芳明、小林弘子、渥美久栄、藤森町子、前内安一、菅野秀徳、菅野好恵、三浪治子、谷孝大、松山晋也、竹下養子、森永壽、板谷綾子、今井曜子、渡辺由子、山田和子、玉巻真由美、渥美樹里、渥美杏奈、渡辺英子、藤村暁子、戸口始、戸口裕子、戸口京子、荒銀昌治、荒銀和子、谷淵啓子、葉田野玲

法人正会員：「継続」 日本労働組合総連合会大阪府連合会

法人賛助会員：「継続」 株式会社京佐興産

団体正会員：「継続」 真如苑

寄付者のみなさま（2015年2月1日～2015年4月30日）

「一般」 近畿ろうきんNPO寄付システム契約者の皆様、新野幸次郎、吉岡啓次、山田明子、忽那須美男、魚島侑子、掛水すみえ、鶴田芳樹、渡邊保、渡邊鶴予、小林弘子、北野與士朗、明石恵實、明石貞子、山田和子、コバヤシヨシヒコ、渥美公秀、太田邦夫、太田幸子、戸口京子、掛田紀夫、戸口始、戸口裕子、マスダナオキ

募金者のみなさま（2015年2月1日～2015年4月30日）

「東日本大震災」 臼井潤子、真如苑、戸口京子、松崎恵子、大江良一、平谷真彦、林誠一、小椋康成、山岸春治、田尻町まちづくり住民会議、井下石泉・公益財団法人白鹿記念酒造博物館、高木春祭りにご来場の皆様

ご協力いただいたみなさま

株式会社高山堂

（順不同、敬称略）

ご支援、ご協力ありがとうございました。

尚、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

編集後記

阪神・淡路大震災から20年が過ぎました。阪神大震災当時に活動していたスタッフも、当然ながら20歳年齢が増しました。将来の災害に備えるためにも、次世代のリーダーを育成していくことがますます重要になってきています。今年度からは、特に若手のリーダー育成に力を注いでいけたらと思っています。（H・T）

認定特定非営利活動法人 **日本災害救援ボランティアネットワーク**〔NVNAD〕

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀 編集人：伴美代子